

令和9年度 学 生 募 集 要 項

学 校 推 薦 型 選 抜
(一般／専門高校・総合学科)

インターネット 出願登録期間	令和8年10月19日（月） ～ 11月9日（月）
出願受付期間	令和8年11月2日（月） ～ 11月9日（月）
試 験 日	令和8年11月29日（日）
合 格 発 表	令和8年12月8日（火）
入 学 手 続	令和8年12月14日（月） ～ 12月21日（月）

実施日程や選抜方法を変更する場合には、本学ホームページにて随時お知らせします。

【目 次】

I アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1 岩手県立大学のアドミッション・ポリシー	1
2 看護学部のアドミッション・ポリシー	2
3 社会福祉学部のアドミッション・ポリシー	3
4 ソフトウェア情報学部のアドミッション・ポリシー	4
5 総合政策学部のアドミッション・ポリシー	5

II 学校推薦型選抜の概要及びインターネット出願について

III 学校推薦型選抜（一般）

1 募集人員	7
2 出願資格	7
3 入学者選抜方法	8

IV 学校推薦型選抜（専門高校・総合学科）

1 募集人員	10
2 出願資格	10
3 入学者選抜方法	11

V 学校推薦型選抜（一般／専門高校・総合学科） 共通事項

1 推薦人数	13
2 学力検査等の日時・試験会場等	14
3 出願手続	16
4 併願上の注意	19
5 障がい等による配慮事前相談について	19
6 入試情報の提供	19
7 試験実施日における試験日程繰り下げ等の情報提供	19
8 合格発表	19
9 入学辞退	19
10 入学手続、初年度納付金	19
11 入学前教育	21
12 個人成績提供の請求について	21
13 個人情報の取り扱い	22
14 試験会場案内	23

I アドミッション・ポリシー（入学受入方針）

1 岩手県立大学のアドミッション・ポリシー

■ 求める学生像

岩手県立大学では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）およびカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に定める教育を受けるに当たって、次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

- （1） 岩手県立大学の「建学の理念」と「大学の基本的方向」に共感する人
- （2） 入学までの学修によって基礎的な知識・技能と、思考力・判断力・表現力を身に付けている人
- （3） 多様な人々と協働しながら、知識・技能を活用して主体的に学び続ける意欲がある人
- （4） 自己成長と社会貢献を目指す人

■ 入学選抜の基本的な考え方

岩手県立大学では、次の考え方に基づく入学選抜を行います。

- （1） 岩手県立大学の「求める学生像」に相応しい入学者を、公平かつ厳正に選抜します。
- （2） 多様な選抜区分と選考方法によって、多面的・総合的に評価します。

■ 建学の理念

「自然」、「科学」、「人間」が調和した新たな時代を創造することを願い、人間性豊かな社会の形成に寄与する、深い知性と豊かな感性を備え、高度な専門性を身に付けた自律的な人間を育成する大学を目指します。

■ 大学の基本的方向

- 1 豊かな教養の修得と人間尊重の精神の涵養
- 2 学際的領域を重視した特色ある教育・研究
- 3 実学・実践重視の教育・研究
- 4 地域社会への貢献
- 5 国際社会への貢献

2 看護学部のアドミッション・ポリシー

■ 求める学生像

岩手県立大学の全学のアドミッション・ポリシーのもと、看護学部では、次のような資質を備えた学生を求めています。

- (1) 自ら学習を計画し、継続的に学ぶことができる人（主体性）
- (2) 自分の考えを他者に伝わるように表現できる人（思考力・判断力・表現力）
- (3) 幅広く高校までの学習を身に付けている人（知識・技能）
- (4) 積極的に人と関わり、良好な関係を持つことができる人（主体性・多様性・協働性）
- (5) 看護学を探究する意欲があり、地域や地域で生活する人々へ貢献する志のある人（主体性・協働性）

■ 選抜の基本方針

看護学部の入学選抜には、学校推薦型選抜、一般選抜（前期日程・後期日程）があります。

- (1) 一般選抜（前期日程・後期日程）では、大学入学共通テスト、小論文、面接により評価します。
大学入学共通テストでは、高等学校等において身に付けた基礎学力を評価します。
小論文では、読解力（和文・図表などを正確に読みとる能力）と論理的思考力（的確な分析にもとづいて論理的に考える能力）、文章表現力（分かりやすい表現で記載する能力）を評価します。
面接では、大学で看護学を学ぶことに対する意欲、適性、コミュニケーション能力や表現力を総合的に評価します。後期日程では、小論文と面接を重視します。
- (2) 学校推薦型選抜では、提出書類を参考とし、基礎学力問題と面接により評価します。
基礎学力問題では、国語（古文、漢文を除く）、英語、数学Ⅰ、数学Ⅱ（全範囲）の学習範囲を中心として、文章理解・構成力、論理的思考力、数的処理能力などを測ります。
面接では、大学で看護学を学ぶことに対する意欲、適性、コミュニケーション能力や表現力、求める学生像（5）に関連して岩手県に貢献する志を総合的に評価します。

それぞれの選抜区分において重視する学力の3要素を以下に記します。重視する度合いが高い順に○、△となっています。

選抜方法と学力の3要素との対応				
選抜区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	共通テスト	○		
	小論文		○	
	面接		○	○
学校推薦型選抜	提出書類	△		
	基礎学力問題	○	○	
	面接		○	○
帰国生徒選抜 社会人選抜	基礎学力問題	○	○	
	面接		○	○
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	○		
	基礎学力問題	○	○	
	面接		○	○

3 社会福祉学部のアドミッション・ポリシー

■ 求める学生像

社会福祉学部では、本学部のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）およびカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に定める教育を受けるに当たって、次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

- (1) 高校卒業相当の基礎的な学力を身に付けている人
- (2) 社会的な課題を多様な側面から考えることができる人
- (3) 自分の考えを論理的に表現できる人
- (4) 相手と交互に議論ができるコミュニケーション能力を有している人
- (5) 社会福祉に対して興味・関心・情熱をもっている人
- (6) 主体的に勉学に取り組むことができる人
- (7) 自らの目標を設定し、その達成に向け努力している人

■ 選抜の基本方針

入学志願者の個性や資質、社会福祉に対する意欲等、多様な潜在能力に配慮しながら、一般選抜（前期日程・後期日程）、総合型選抜、学校推薦型選抜など多様な選抜区分を採用しています。

一般選抜（前期日程）では、調査書によって「求める学生像」の（6）を確認するとともに、大学入学共通テストによって（1）、総合問題によって（1）（2）（3）を確認します。

一般選抜（後期日程）では、大学入学共通テストによって「求める学生像」の（1）を確認するとともに、小論文によって（2）（3）、面接によって（2）（3）（4）（5）を確認します。

総合型選抜では、一次選考の提出書類の審査によって「求める学生像」の（1）（5）（6）（7）を確認します。そして、二次選考の面接試験によって（3）（4）（7）、講義理解力試験によって（1）（2）（3）を確認します。

学校推薦型選抜では、高校からの推薦をもって「求める学生像」の（1）を有すると見なし、小論文によって（2）（3）、面接によって（2）（3）（4）（5）を確認します。

それぞれの選抜区分において重視する学力の3要素を以下に記します。重視する度合いが高い順に○、△となっています。

選抜方法と学力の3要素との対応				
選抜区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期日程）	調査書			△
	共通テスト	○		
	総合問題		○	
一般選抜（後期日程）	共通テスト	○		
	小論文		○	
	面接		○	○
総合型選抜	提出書類	○		○
	面接		○	○
	講義理解力試験	○	○	
学校推薦型選抜	提出書類	△		
	小論文		○	
	面接		○	○
帰国生徒選抜 社会人選抜	小論文	△	○	
	面接		○	○
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	△		
	小論文	△	○	
	面接		○	○

4 ソフトウェア情報学部のアドミッション・ポリシー

■ 求める学生像

ソフトウェア情報学部では、本学部のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）およびカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に定める教育を受けるに当たって、コンピュータやソフトウェア、情報に強い関心や興味を持っており、かつ、次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めています。

- (1) 人間、社会に対して強い関心や興味がある人
- (2) 将来、社会で役に立ちたいという夢や希望を持っている人
- (3) よく観察し、筋道を立てて考え、自分の考えを人に伝えることができる人
- (4) 高校教育課程で定められた基礎学力を身に付けており、得意科目や得意分野、特技を持っている人

■ 選抜の基本方針

ソフトウェア情報学部の入学者選抜には、一般選抜（前期日程、中期日程）、総合型選抜、学校推薦型選抜（一般、専門高校・総合学科）等の区分があり、その基本方針は以下のとおりです。

- (1) 一般選抜では、大学入学共通テストと学力検査により評価を行います。
- (2) 総合型選抜では、提出書類と面接により評価を行います。
- (3) 学校推薦型選抜等では、総合判定資料（書類、面接）と基礎学力問題により評価を行います。

それぞれの選抜区分において重視する学力の3要素を以下に記します。重視する度合いが高い順に○、△となっています。

選抜方法と学力の3要素との対応				
選抜区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	共通テスト	○	△	
	学力検査	△	○	
総合型選抜	提出書類	○	△	○
	面接	△	○	○
学校推薦型選抜 帰国生徒選抜 社会人選抜 私費外国人留学生選抜	総合判定資料（書類）	○	△	○
	総合判定資料（面接）	△	○	△
	基礎学力問題	○	△	

5 総合政策学部のアドミッション・ポリシー

■ 求める学生像

総合政策学部では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）およびカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に定める教育を受けるに当たって、次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

- （１） 現代社会における多様な事象を把握するための前提知識として、高校卒業相当の基礎的かつ全般的な学習内容を身に付けている人
特に以下の点を重視する。
 - ・ 読解力（英語を含む）
 - ・ 文章作成能力
 - ・ 基礎的な数学的思考能力
- （２） 社会や自然環境等に広く関心を持ち、それらの理解に必要な情報を収集できる。さらに収集した情報を適切に関連付けながら問題を発見し、その解決策を導くための論理的思考能力を身に付けている人
- （３） 自分の考えを適切に表現し、積極的に他者の考えを理解しようとする人

※ 学力の３要素の対応として（１）は知識・技能、（２）は思考力・判断力・表現力、（３）は主体性・多様性・協働性である。

■ 選抜の基本方針

総合政策学部では、「求める学生像」に合致する学生を選抜するために、次の考え方に基づく入学者選抜を行います。重視する度合いが高い順に○、△となっています。

求める学生像と選抜方法との対応				
選抜区分・選抜方法		求める学生像		
		(１)	(２)	(３)
一般選抜	共通テスト	○		
	学力検査	○	○	
総合型選抜	提出書類	△	○	○
	面接		○	○
学校推薦型選抜 帰国生徒選抜 社会人選抜	総合問題	△	○	
	面接		△	○
私費外国人留学生選抜	小論文	△	○	
	面接		△	○

Ⅱ 学校推薦型選抜の概要及びインターネット出願について

学校推薦型選抜における岩手県立大学への出願方法は、インターネット出願です。出願完了までの流れ、出願登録及び入学検定料の支払いについては、インターネット出願サイト掲載の「インターネット出願利用手順」を参照してください。なお、必要書類等の詳細については、本募集要項（16 ページ「3 出願手続」）で確認のうえ、不備のないように出願してください。

1 学校推薦型選抜の概要

志望理由書等の作成及び学校作成推薦書等の出願書類を準備	インターネット出願の前に準備してください。
インターネット出願の登録期間 (入学検定料の支払期限) 【入学検定料】 17,000 円	令和8年10月19日(月) ～ 令和8年11月9日(月) ※ 検定料は上記期間内にお支払いください。なお、既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 (ア) 検定料を支払ったが出願しなかった場合 (イ) 検定料を支払ったが出願が受理されなかった場合 (ウ) 検定料を二重に支払った場合 上記(ア)～(ウ)のいずれかに該当する場合は、必ず教育支援室入試グループへ連絡してください。返還の際には、領収書(証)等が必要となる場合がありますので、大切に保管しておいてください。
出願受付期間 (出願書類提出期限)	令和8年11月2日(月) ～ 令和8年11月9日(月)【午後4時必着】 上記期間を過ぎて到着したものは受理しません。 ただし、11月7日(土)までの消印があり、かつ、書留速達郵便のものに限り受理します。
試験日	令和8年11月29日(日)
合格発表日	令和8年12月8日(火)
入学手続期間	令和8年12月14日(月)～令和8年12月21日(月) 【午後4時必着】 上記期間を過ぎて到着したものは受理しませんので、余裕を持って郵送してください。

Ⅲ 学校推薦型選抜（一般）

1 募集人員

学 部 ・ 学 科 名		募 集 人 員
看 護 学 部	看 護 学 科	32 名
社 会 福 祉 学 部	社 会 福 祉 学 科 人 間 福 祉 学 科	[県内] : 27 名 [全国] : 10 名
ソフトウェア情報学部	ソフトウェア情報学科	[県内] : 30 名 [全国] : 5 名
総 合 政 策 学 部	総 合 政 策 学 科	[県内] : 30 名 [全国] : 5 名
合 計		139 名

(注) 社会福祉学部においては、2年次進級の際に学科への配属を行います（定員は、社会福祉学科50名、人間福祉学科40名）。以後は学科の変更をすることはできません。

2 出願資格

次の（１）から（４）までのすべてを満たし、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者とします。

（１） 次のいずれかに該当する者

【看護学部・社会福祉学部〔県内〕・ソフトウェア情報学部〔県内〕・総合政策学部〔県内〕】

- ① 岩手県内の高等学校を令和9年3月に卒業見込みの者（学校教育法施行規則第104条第3項の規定により、令和8年度の学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者を含む。）
- ② 岩手県内において、通常の課程による12年の学校教育を令和9年3月に修了見込みの者
- ③ 岩手県外の高等学校若しくは中等教育学校又は通常の課程による12年の学校教育を令和9年3月に卒業（修了）見込みの者（学校教育法施行規則第104条第3項の規定により、令和8年度の学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校又は中等教育学校等の卒業を認められる者を含む。）で、本人又はその配偶者若しくは一親等の親族が出願期間の最終日の1年前（令和7年11月9日）から引き続き岩手県内に住所を有する者

【社会福祉学部〔全国〕・ソフトウェア情報学部〔全国〕・総合政策学部〔全国〕】

- ① 高等学校又は中等教育学校を令和9年3月に卒業見込みの者（学校教育法施行規則第104条第3項の規定により、令和8年度の学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校又は中等教育学校の卒業を認められる者を含む。）
- ② 通常の課程による12年の学校教育を令和9年3月に修了見込みの者

（２） 志望する学部、学科での勉学に対し熱意と適性を有する者

（３） 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

（４） 看護学部、社会福祉学部又は総合政策学部に入学を志願する者は、調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者。ソフトウェア情報学部に入学者は、志願する者は、「国」、「数」、「理」、「英」、「情」の5教科のうち、少なくとも3教科の学習成績の状況がいずれも4.0以上の者。なお、主として専門学科において開講される教科「理数」は2教科として扱います。

3 入学者選抜方法

看護学部及びソフトウェア情報学部においては、提出された推薦書、調査書及び本学が要求する書類等の出願書類並びに、能力・適性をみるため本学が実施する基礎学力問題及び面接によって選抜します。

社会福祉学部においては、提出された推薦書、調査書及び本学が要求する書類等の出願書類並びに、本学が実施する小論文及び面接によって選抜します。

総合政策学部においては、提出された推薦書、調査書及び本学が要求する書類等の出願書類並びに、本学が実施する総合問題及び面接によって選抜します。

(1) 選抜内容

学 部 名	小論文	総合問題	基礎学力問題	面接	調査書等
看 護 学 部	－	－	○	○	△
社 会 福 祉 学 部	○	－	－	○	△
ソフトウェア情報学部	－	－	○	○	○
総 合 政 策 学 部	－	○	－	○	△

※ △は面接に使用しますが、点数化しません。

(2) 配点

学 部 名	小論文	総合問題	基礎学力問題	面接	調査書等	合 計
看 護 学 部	－	－	300	50	面接の資料	350
社 会 福 祉 学 部	100	－	－	50	面接の資料	150
ソフトウェア情報学部	－	－	100	100		200
総 合 政 策 学 部	－	150	－	50	面接の資料	200

(3) 出題範囲・出題意図

看護学部

科 目 等	内 容
基 礎 学 力 問 題	国語（古文、漢文を除く）、英語、数学I、数学 A（全範囲）の学習範囲を中心として、文章読解・構成力、論理的思考力、数的処理能力などを問う問題で、記述形式で解答するものです。
面 接	出願書類（調査書等）を面接の資料とし、意欲、適性、コミュニケーション能力、表現力、岩手県に貢献する志を総合的に評価します。

社会福祉学部

科 目 等	内 容
小 論 文	理解力、判断力、論理的思考力、表現力を中心として総合的に評価する問題です。
面 接	志望動機、意欲、理解力、判断力、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力などの観点から総合的に評価します。出願書類（調査書、志望理由書、推薦書）を面接の資料とします。

ソフトウェア情報学部

科 目 等	内 容
基 礎 学 力 問 題	国語（古文、漢文を除く）、英語、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（全範囲）、数学B（数列のみ）、数学C（ベクトルのみ）の学習範囲を中心として、文章読解・構成力、論理的思考力、数的処理能力などを問う問題です。
総合判定資料 （書類・面接）	志望動機、意欲、適性、基礎学力、表現力などの観点から総合的に評価します。

総合政策学部

科 目 等	内 容
総 合 問 題	現代の社会がかかえる諸問題について論じた文章及びそれらにかかわる資料・図表を提示し、それらの読解を通して、総合政策学部において学ぶために必要な問題発見力、分析能力、問題解決能力及び表現力をみます。（英語の問題を含みません。）
面 接	志望動機、意欲、適性、能力、表現力などの観点から総合的に評価します。出願書類（調査書、志望理由書、推薦書）を面接の資料とします。

（４） 合否判定基準

学 部 名	合 否 判 定 基 準
看 護 学 部	面接の評価が一定の基準を満たす者を対象として、総合点（基礎学力問題、面接の合計点）の順位により判定します。総合点が同点の場合には、面接の得点が高い者を上位とします。
社 会 福 祉 学 部	総合点（小論文、面接の合計点）の順位により判定します。
ソフトウェア情報学部	基礎学力問題の得点と総合判定資料（調査書等の出願書類及び面接）の得点がいずれも合格基準点以上の者を対象として、総合点（基礎学力問題の得点と総合判定資料の得点の合計点）の順位により判定します。総合点が同点の場合には、総合判定資料の得点が高い者を上位とします。
総 合 政 策 学 部	総合点（総合問題、面接の合計点）の順位により判定します。

※ 各学部の求める学生像や選抜の基本方針については、各学部のアドミッション・ポリシー（2ページ～5ページ）を参考としてください。

※ 学校推薦型選抜では大学入学共通テストを課していませんが、看護学部、社会福祉学部及び総合政策学部では、合格後から大学入学までの勉学意欲を継続させるため、大学入学共通テストの受験を推奨しています（検定料は本人負担です）。受験科目は、看護学部は一般選抜受験者と同じ（令和9年度入学者選抜要項 10 ページに記載）、社会福祉学部及び総合政策学部は一般選抜前期日程受験者と同じです（令和9年度入学者選抜要項 11 ページ及び 13 ページに記載）。

また、看護学部、社会福祉学部及び総合政策学部では、入学後に入学生の大学入学共通テストの成績把握と分析を行うため、成績を提出していただきます。このため、大学入学共通テスト出願サイトから出願内容の登録をする際に成績の閲覧を「希望する」と登録してください（成績閲覧手数料は本人負担です）。

IV 学校推薦型選抜（専門高校・総合学科）

1 募集人員

学 部 ・ 学 科 名		募集人員
社 会 福 祉 学 部	社 会 福 祉 学 科 人 間 福 祉 学 科	若干名
ソフトウェア情報学部	ソフトウェア情報学科	20 名

（注） 社会福祉学部においては、2年次進級の際に学科への配属を行います（定員は、社会福祉学科 50 名、人間福祉学科 40 名）。以後は学科の変更をすることはできません。

2 出願資格

【社会福祉学部】

次の（１）又は（２）に該当し、かつ、（３）及び（４）に該当する者で高等学校等の長が責任を持って推薦できる者としてします。

- （１） 高等学校設置基準（平成 16 年 3 月 31 日 文部科学省令第 20 号）第 6 条第 2 項第 5 号（家庭に関する学科）又は第 8 号（福祉に関する学科）の学科を令和 9 年 3 月に卒業見込みの者
- （２） 高校の総合学科を令和 9 年 3 月卒業見込みの者で、福祉に関する科目から 6 単位以上又は公民から 6 単位以上修得（見込みを含む）した者
- （３） 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者
- （４） 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者

（注）福祉に関する教科・科目

「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」「コミュニケーション技術」「生活支援技術」「介護過程」「介護総合演習」「介護実習」など。

また、例示した科目のほか、家庭の教科のうち「子どもの発達と保育」「子ども文化」「生活と福祉」など、福祉と関連の深い科目については、「福祉に関する科目」とみなします。

詳しくは、教育支援室入試グループにお問い合わせください。

【ソフトウェア情報学部】

次の（１）から（３）までのすべてに該当し、かつ（４）（５）（６）のいずれかに該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者としてします。

- （１） 高等学校又は中等教育学校の職業教育を主とする学科又は総合学科を令和 9 年 3 月に卒業見込みの者（学校教育法施行規則第 104 条第 3 項の規定により、令和 8 年度の学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校又は中等教育学校の卒業を認められる者を含む。）
- （２） ソフトウェア情報学部ソフトウェア情報学科での勉学に対し熱意と適性を有する者
- （３） 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者
- （４） 調査書の学習成績概評が A である者
- （５） 情報科、情報技術科、情報処理科、情報工学科、情報システム科又は情報ビジネス科を令和 9 年 3 月卒業見込みの者で、調査書の「国」、「数」、「理」、「英」、「情」の 5 教科のうち、少なくとも 3 教科の学習成績の状況がいずれも 4.2 以上の者、もしくは、少なくとも 3 教科の学習成績の状況がいずれも 4.0 以上の者で、情報に関する高度な資格（注 1）を取得している者
- （６） （５）以外の学科で、情報に関する科目（注 2）を 6 単位以上修得（見込みを含む）して令和 9 年 3 月卒業見込みの者のうち、調査書の「国」、「数」、「理」、「英」、「情」の 5 教科のうち、少なくとも 3 教科の学習成績の状況がいずれも 4.2 以上の者、もしくは、少なくとも 3 教科の学習成績の状況がいずれも 4.0 以上の者で、情報に関する高度な資格（注 1）を取得している者

(注1) 情報に関する高度な資格 ※出願の前にあらかじめ問い合わせをすること。

情報に関する高度な資格の例：

「応用情報技術者」、「基本情報技術者」、「ITパスポート」、「情報セキュリティマネジメント(SG)」、
「全国商業高等学校協会 情報処理検定(ビジネス情報部門) 1級」、
「全国商業高等学校協会 情報処理検定(プログラミング部門) 1級」、
「全国工業高等学校長協会 情報技術検定 1級」

その他の資格については教育支援室入試グループへお問い合わせください。

(注2) 情報に関する科目 ※出願の前にあらかじめ問い合わせをすること。

「情報テクノロジー」、「情報処理」、「ソフトウェア技術」、「ソフトウェア活用」、「プログラミング」、「情報システムのプログラミング」、「通信技術」、「移動体通信工学」、「ネットワークシステム」、「ネットワーク活用」、「ネットワーク管理」、「データベース」、「情報デザイン」、「情報セキュリティ」、「工業技術基礎」、「工業情報数理」、「電子技術」、「ハードウェア技術」、「コンピュータシステム技術」、「生活産業情報」、「農業と情報」、「海洋情報技術」、「海洋通信技術」、「看護情報」、「福祉情報」、「コミュニケーション技術」、「情報メディア」など。

その他に「実習」、「課題研究」、「工業技術基礎」、「総合実践」などについても内容が情報と関連が深い場合には「情報に関する科目」とみなすことがあります。詳しくは、教育支援室入試グループへお問い合わせください。

3 入学者選抜方法

社会福祉学部においては、提出された推薦書、調査書及び本学が要求する書類等の出願書類並びに、本学が実施する小論文及び面接によって選抜します。

ソフトウェア情報学部においては、提出された推薦書、調査書及び本学が要求する書類等の出願書類並びに、能力・適性をみるため本学が実施する基礎学力問題(専門高校・総合学科)及び面接によって選抜します。

(1) 選抜内容

学 部 名	小論文	基礎学力問題 (専門高校・総合学科)	面接	調査書等
社 会 福 祉 学 部	○	—	○	△
ソフトウェア情報学部	—	○	○	○

※ △は面接に使用しますが、点数化しません。

(2) 配点

学 部 名	小論文	基礎学力問題 (専門高校・総合学科)	面接	調査書等	合計
社 会 福 祉 学 部	100	—	50	面接の資料	150
ソフトウェア情報学部	—	100	100		200

(3) 出題範囲・出題意図

社会福祉学部

科 目 等	内 容
小 論 文	理解力、判断力、論理的思考力、表現力を中心として総合的に評価する問題です。

面 接	志望動機、意欲、理解力、判断力、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力などの観点から総合的に評価します。出願書類（調査書、志望理由書、推薦書）を面接の資料とします。
-----	---

ソフトウェア情報学部

科 目 等	内 容
基礎学力問題 (専門高校・総合学科)	国語（古文、漢文を除く）、英語、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（全範囲）の学習範囲を中心として、文章読解・構成力、論理的思考力、数的処理能力などを問う問題です。このうち、数学に関する問題は、「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A」を出題範囲とする選択問題とします。
総合判定資料 (書類・面接)	志望動機、意欲、適性、基礎学力、表現力などの観点から総合的に評価します。

(4) 合否判定基準

学 部 名	合 否 判 定 基 準
社 会 福 祉 学 部	総合点（小論文、面接の合計点）の順位により判定します。
ソフトウェア情報学部	基礎学力問題（専門高校・総合学科）の得点と総合判定資料（調査書等の出願書類及び面接）の得点がいずれも合格基準点以上の者を対象として、総合点（基礎学力問題（専門高校・総合学科）の得点と総合判定資料の得点の合計点）の順位により判定します。総合点が高点の場合には、総合判定資料の得点が高い者を上位とします。

※ 学校推薦型選抜では大学入学共通テストを課していませんが、社会福祉学部では、合格後から大学入学までの勉強意欲を継続させるため、大学入学共通テストの受験を推奨しています（検定料は本人負担です）。受験科目は、一般選抜前期日程受験者と同じです（令和9年度入学者選抜要項 11 ページに記載）。

また、社会福祉学部では、入学後に入学生の大学入学共通テストの成績把握と分析を行うため、成績を提出していただきます。このため、大学入学共通テスト出願サイトから出願内容の登録をする際に成績の閲覧を「希望する」と登録してください（成績閲覧手数料は本人負担です）。

V 学校推薦型選抜（一般／専門高校・総合学科）共通事項

1 推薦人数

各高等学校等（本校、分校を問いません。）から看護学部に対し3名、社会福祉学部に対し学校推薦型選抜（一般）では岩手県内高校からは〔県内〕に4名、〔全国〕に2名、岩手県外高校からは〔全国〕に2名、学校推薦型選抜（専門高校・総合学科）では県内県外を問わず1名、総合政策学部に対し学校推薦型選抜（一般）では岩手県内高校からは〔県内〕に2名、〔全国〕に1名、岩手県外高校からは〔全国〕に2名、ソフトウェア情報学部に対し岩手県内高校からは学校推薦型選抜（一般）の〔県内〕、〔全国〕及び学校推薦型選抜（専門高校・総合学科）に人数制限なし、岩手県外高校からは学校推薦型選抜（一般）の〔全国〕及び学校推薦型選抜（専門高校・総合学科）に合わせて4名（「岩手県内者（注）」を除く。）の推薦が可能です。

さらに岩手県内の定時制課程（分校は本校に含める）からは学校推薦型選抜（一般）の社会福祉学部及び総合政策学部に対し〔県内〕、〔全国〕にそれぞれ1名の追加推薦が可能です。岩手県外の定時制課程（分校は本校に含める）からは、学校推薦型選抜（一般）の社会福祉学部及び総合政策学部に対し〔全国〕に1名の追加推薦が可能です。

また、通信制課程（分校は本校に含める）がある高等学校からは定時制課程と同様に追加推薦が可能です。

なお、統合に伴い、旧高等学校の生徒が統合校へ移行する場合は、その生徒が卒業するまでの間、統合前の旧高等学校ごとの推薦が可能です。

〔推薦人数一覧〕

学 部 ・ 学 科		一 般			専門高校・総合学科
		推薦できる人数	定時制課程（分校は本校に含める）から追加推薦できる人数	通信制課程（分校は本校に含める）から追加推薦できる人数	推薦できる人数
看護学部	看護学科	3名以内	—	—	—
社会福祉学部	社会福祉学科 人間福祉学科	岩手県内高校 〔県内〕4名以内 〔全国〕2名以内 岩手県外高校 〔全国〕2名以内	岩手県内高校 〔県内〕+1名 〔全国〕+1名 岩手県外高校 〔全国〕+1名	岩手県内高校 〔県内〕+1名 〔全国〕+1名 岩手県外高校 〔全国〕+1名	1名
総合政策学部	総合政策学科	岩手県内高校 〔県内〕2名以内 〔全国〕1名 岩手県外高校 〔全国〕2名以内	岩手県内高校 〔県内〕+1名 〔全国〕+1名 岩手県外高校 〔全国〕+1名	岩手県内高校 〔県内〕+1名 〔全国〕+1名 岩手県外高校 〔全国〕+1名	—
ソフトウェア情報学部	ソフトウェア情報学科	岩手県内高校は学校推薦型選抜（一般）の〔県内〕、〔全国〕及び学校推薦型選抜（専門高校・総合学科）を合わせて制限なし、岩手県外高校は学校推薦型選抜（一般）の〔全国〕及び学校推薦型選抜（専門高校・総合学科）を合わせて4名以内（「岩手県内者（注）」を除く）。			
岩手県内高校合計 （定時制課程及び通信制課程追加推薦分を除く）		- 看護学部 3名以内 - 社会福祉学部 7名以内 - ソフトウェア情報学部 制限なし - 総合政策学部 3名以内			

（注）「岩手県内者」とは、岩手県内の高校を卒業見込み等の者、及び本人又はその配偶者若しくは一親等の親族が出願期間の最終日の1年前（令和7年11月9日）から引き続き岩手県内に住所を有する者としします。

なお、岩手県外高校からの推薦については、「岩手県内者」に該当する者であれば、看護学部は上記表内の人数の推薦が可能です。さらに社会福祉学部は学校推薦型選抜（一般）の〔県内〕枠に4名、総合政策学部は学校推薦型選抜（一般）の〔県内〕枠に2名推薦が可能です。また、ソフトウェア情報学部は一般の〔県内〕、〔全国〕及び専門高校・総合学科に推薦人数の制限なく出願できます。

2 学力検査等の日時・試験会場等

(1) 学力検査等の期日、時間割

令和8年11月29日(日)

受付開始 8:30、受験者入室期限 9:30

学 部 名	時 間 ・ 学 力 検 査 等					
	10 : 00	11 : 30	12 : 00	12 : 30	13 : 00	17 : 00
看 護 学 部		基礎学力問題		昼食・休憩		面 接
社 会 福 祉 学 部		小論文		昼食・休憩		面 接
ソフトウェア情報学部		基礎学力問題 基礎学力問題（専門高校・総合学科）		昼食・休憩		面 接
総 合 政 策 学 部		総合問題		昼食・休憩		面 接

(2) 試験会場

試験は岩手県立大学で行います。試験会場周辺の地図は、24 ページに記載していますので参照してください。試験会場を変更する場合は、別途お知らせします。

(3) 受験上の注意事項

- ・ 受験票は試験期間中必ず携帯し、係員からの請求があった場合は、提示してください。
- ・ 当日に受験票を忘れた者は、速やかに係員に申し出てください。また、受験票は、個人成績提供の請求の際に必要なとなるので、試験後も大切に保管してください。
- ・ 受験者の受付は、午前8時30分に開始しますので、午前9時30分までに受付を済ませ、指定された試験室に入室し、着席してください。
- ・ 小論文、総合問題、基礎学力問題、基礎学力問題(専門高校・総合学科)の開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- ・ 面接の際は、決められた面接控室に集合し、待機してください。なお、面接開始時(看護学部、社会福祉学部、ソフトウェア情報学部の場合は面接控室入室期限)に不在であった場合には、欠席として取り扱います。
- ・ 筆記試験又は面接のいずれか1つでも受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- ・ 試験時間中に使用を許可するものは、鉛筆(シャープペンシル可)、消しゴム、鉛筆削り、時計(※)に限りします。
- ※ 辞書や電卓等の機能があるもの、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等)や、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマーや学習タイマー、大型のものを除く。
- ・ 時計は各自で用意してください。
- ・ 携帯電話、スマートフォンや音の出る機器類の時報・アラーム音・着信音等は試験室に入る前に必ず設定を解除し電源を切ってかばん等にしまってください。アラームは、設定を解除しないと電源を切っても鳴ることがありますので十分注意してください。なお、試験時間中にかばんの中でこれらの機器類の着信音や振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験実施本部で当該試験時間終了まで保管します。
- ・ 試験時間中、監督者が試験室内の巡視を行います。その際、監督者が顔を上げるよう指示することや、マスクや眼鏡、帽子等を一時的に外すよう指示することなどがあります。また、不正行為に見えるような行為は、監督者が注意する場合があります。
- ・ 試験会場における受験者間の物品の貸与は一切認めません。
- ・ 昼食の販売は行いませんので、各自で準備してください。
- ・ 昼食は指定された席でとってください。
- ・ 試験会場及びその周辺で合格電報、合格電話等の受付を行う者がいても、岩手県立大学とは一切関係なく、トラブル等が生じて責任を負えないので注意してください。
- ・ 試験日前日から、本学の建物内には入れません。なお、試験日前日の午後に限り、本学の敷地内に入れます。
- ・ その他必要が生じた場合には、本学ホームページにて随時お知らせします。

(4) 不正行為

- ① 本学のすべての入学者選抜において、次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての教科・科目の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- ・ 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- ・ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ・ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ・ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- ・ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ・ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ・ 試験時間中に、使用を許可されたもの以外の物品（※１※２）をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
 - ※１ 定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類
 - ※２ 試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等の補助具を使用したい場合は、受験上の配慮の申請が必要です。
- ・ 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

- ② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

- ・ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音等。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ・ 建物内において携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
- ・ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- ・ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ・ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ・ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

3 出願手続

(1) 出願期間

令和8年11月2日(月)から令和8年11月9日(月)午後4時まで(必着)

上記期間を過ぎて到着したものは受理しないので、余裕を持って郵送してください。

ただし、11月9日(月)午後4時を過ぎて到着したのも、11月7日(土)までの消印があり、かつ、書留速達郵便のものに限り受理します。

(2) 出願方法

インターネット出願サイトから「出願登録(登録期間: 令和8年10月19日(月)～11月9日(月))」及び「入学検定料の支払い」完了後にダウンロードできる書類を印刷し、その他必要書類と併せて提出してください。また、高等学校等の長が取りまとめて一括して提出する場合は、志願者ごとに所定の封筒に入れて、必ず封筒表面に「学校推薦型選抜出願書類〇名分在中」と朱書きしてください。

① 郵送する場合

書留速達にて郵送してください。

② 持参する場合

出願期間中の午前9時から午後4時まで

(午前 11 時 45 分から午後 1 時まで及び土・日・祝日を除く)

※ 高等学校等の教職員以外の持参による提出は受け付けません。

(3) 出願に係る事前準備

インターネット出願を行う前に必ず確認してください。

準備内容	作成方法
出願環境の準備	1 端末の準備 インターネット出願は、以下の環境で行ってください。 ＜パソコン利用時推奨ブラウザ＞ ・ Microsoft Edge 最新版 ・ Google Chrome 最新版 ・ Mozilla Firefox 最新版 ・ Apple Safari 最新版 ＜スマートフォン、タブレット利用時推奨OS＞ ・ iOS 12 以降 ・ Android 8 以降 ・ iPadOS 13 以降 ※ 各OSの標準ブラウザが推奨環境となります。 ※ お使いのブラウザで表示が崩れる場合は、他のブラウザで確認してください。 ※ 印刷機能を必要とします。 2 メールアドレスの準備 出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメイン【@e-apply.jp】、【@ml.iwate-pu.ac.jp】からのメールを受信できるように設定を追加してください。 出願時に登録したメールアドレスに、以下のメールが4通送信されます。 ① インターネット出願入力中のテストメール ② 出願登録情報の入力完了時のメール ③ 入学検定料支払完了時のメール ④ 受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール ※ 試験が終了するまで、メールアドレスは変更しないでください。

志願者本人写真の用意	インターネット出願にあたって、顔写真データ（ファイル形式「jpeg、jpg、png、bmp」かつ、2MBまで）が必要です。写真は本人確認に利用しますので、出願前3か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽、背景なしのカラー写真データを用意してください。以下の「使用できない写真の例」に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合には、出願を受け付けられないことがあるので、注意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。
その他必要書類の準備	出願する区分に応じて必要な書類を、出願期間に間に合うように準備してください。※ 必要な書類は「(6) 出願書類」で確認してください。
出願書類送付用封筒	必要書類提出のために、市販の角形2号封筒（240 mm×332 mm）を用意してください。
様式印刷の用意	A4判印刷に対応したカラープリンターと用紙を用意してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いません。（個人情報の取り扱いには十分注意してください。）

※ インターネット出願時に誤った情報を入力・登録した場合は、下記の対応をしてください。

支払い前に誤りに気付いた場合	始めから申し込みをやり直してください。新たに【受付番号（12桁の番号）】が通知されるので、新しい受付番号でお支払いください。誤って登録した出願は、期限までに支払いがなければ自動的に削除されます。
支払い後に誤りに気付いた場合	ご自身で修正できるように設定しますので、教育支援室 入試グループ宛に下記の情報を電話かメールでお知らせください。 ① 氏名 ② 出願区分、出願学部 ③ 受付番号（12桁の番号） 【問い合わせ先】 電話番号：019-694-2014 メールアドレス：ipu-nyushi@ml.iwate-pu.ac.jp

(4) 出願登録

出願登録は、インターネット出願サイト画面から行ってください。

詳細は、インターネット出願サイト掲載の「インターネット出願利用手順」を参照してください。

(5) 入学検定料の支払い

入学検定料は、インターネット出願サイト掲載の「インターネット出願利用手順」のSTEP4「お支払い」を参照して支払ってください。

(6) 出願書類

出願書類は、次のとおりです。

書 類	作 成 方 法
志願票	必要事項をもれなく入力してください。インターネット出願サイトから「出願登録」及び「入学検定料（17,000円）の支払い」完了後にA4判印刷用紙にカラー印刷してください。
写真票	インターネット出願サイトから「出願登録」及び「入学検定料の支払い」完了後にA4判印刷用紙にカラー印刷してください。鮮明に印刷するため、スーパーファイン用紙、マット紙等の使用を推奨します。

推薦書	本学所定の様式により、高等学校等の長が作成し、厳封してください。 ※様式は、本学ホームページからダウンロードしてください。
志望理由書	志願する学部に対応した「志望理由書」を作成のうえ提出してください。 ※様式は、本学ホームページからダウンロードしてください。
調査書	文部科学省所定の様式により高等学校等の長が作成し、厳封してください。 ※調査書等は、令和8年4月1日以降に発行されたものを提出してください。
提出書類 チェックシート	インターネット出願サイトから「出願登録」及び「入学検定料の支払い」完了後にA4判印刷用紙にカラー印刷してください。(志願票を印刷すると、同時に印刷されます。) 必要書類を漏れなく封入したことをチェック欄にチェックした上で、「出願書類提出用角形2号封筒」に同封してください。
出願書類提出用 宛名シート	インターネット出願サイトから「出願登録」及び「入学検定料の支払い」完了後にA4判印刷用紙にカラー印刷してください。(志願票を印刷すると、同時に印刷されます。)[「出願書類提出用角形2号封筒」の表面に、剥がれないように全面のり付けで貼付してください。
出願書類提出用 角形2号封筒	市販の角形2号封筒を各自で用意し、出願に必要な書類をすべて封入し、「出願書類提出用宛名シート」を貼付してください。

◎ 上記書類を、「出願書類提出用宛名シート」を貼り付けた「出願書類提出用角形2号封筒」に入れ、提出してください。

(7) 受験票の印刷

- ・ 受験票は、出願期間後にインターネット出願サイトから印刷できます。出願時に登録したメールアドレスに、受験票の印刷をお知らせするメールを送信しますが、メールが届かない場合でも、令和8年11月18日(水)午後1時以降(予定)に、インターネット出願サイトからダウンロードして印刷し、余白部分を切り取ったうえで、試験当日に持参してください。

- ・ インターネット出願では、入学検定料支払時、必要書類印刷時、受験票印刷時等に、インターネット出願サイトへのログインが必要になります。インターネット出願サイトからマイページログイン画面にアクセスして、「メールアドレス」及び「パスワード」を入力してください。
- ・ インターネット出願の利用が難しい場合は、令和8年11月6日(金)までに、教育支援室入試グループへ相談してください。

(8) 出願上の注意事項

- ・ 「インターネット出願」は、本学インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。支払期限内に入学検定料を支払い、出願に必要な書類が出願期限内に本学に到着する必要があります。
- ・ 社会福祉学部においては、2年次進級の際に学科への配属を行います(定員は、社会福祉学科50名、人間福祉学科40名)。以後は学科の変更をすることはできません。
- ・ 出願書類に不備がある場合は受理しません。
- ・ 出願書類の記入に当たっては、黒色ボールペンで正しく明確に記入してください。パソコンで作成する際は黒の文字色で正しく入力してください。
- ・ 出願後の書類の内容変更はできません。ただし、受験者本人の氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、教育支援室入試グループへ連絡してください。
- ・ 受理した出願書類は返還しません。
- ・ 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学手続き後であっても入学の許可を取り消します。
- ・ 出願資格を入学時まで満たせなかった者は、入学手続き後であっても入学の許可を取り消します。

4 併願上の注意

- ・ 本学の学校推薦型選抜へ出願する者は、他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願することはできません。
- ・ 本学の学校推薦型選抜に合格し入学手続を行った者は、入学辞退の許可を得た場合を除き、他の国公立大学を受験しても合格者にはなりません。（重複して入学手続を行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します。）
- ・ 本学の学校推薦型選抜に合格しなかった者は、本学及び他の国公立大学が実施する他の選抜に出願することができます。この場合は、当該大学の学生募集要項により改めて出願してください。
- ・ 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限って、学校推薦型選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

5 障がい等による配慮事前相談について

本学に入学を志願する者で、障がいがある等、受験上及び就学上の配慮を希望する場合は、教育支援室入試グループへ下記の期限までに事前に相談してください。

この事前相談がない場合、受験上及び就学上の配慮を行うことが難しくなることがあります。日常生活において使用している補聴器、車椅子等を持参しようとする場合も、事前相談が必要です。

障がいの程度によっては、受験上の配慮（障がいの程度に応じ、例えば、視覚障がいの場合は、試験時間延長・別室での受験・拡大文字による出題、下肢機能障がいの場合は、車椅子での受験・試験室への誘導等）を行うことがあります。

相談の期限： 令和8年10月8日（木）まで

相談の方法： 所定の「障がい等による受験上及び就学上の配慮申出書」に所要事項を記入のうえ、教育支援室入試グループへ提出してください。必要な場合は、志願者又はその立場を代弁しうる出身学校関係者等との面談等を行います。「障がい等による受験上及び就学上の配慮申出書」は、本学ホームページからダウンロードしてください。事前相談期限後の不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のため配慮を希望する場合は、速やかに相談してください。

6 入試情報の提供

志願状況等の入試情報を本学ホームページで提供します。

7 試験実施日における試験日程繰り下げ等の情報提供

試験実施当日に、交通機関の遅延などに伴う試験日程の繰り下げ等の情報を午前7時45分頃から本学ホームページで提供します。

8 合格発表

発表日時： 令和8年12月8日（火） 午後1時（予定）

合格者には合格通知書を発送します。

また、本学ホームページでも合格者の受験番号を発表するとともに、高等学校等の長あてに合否を通知します。

電話、電子メール等による問い合わせには一切応じません。

9 入学辞退

学校推薦型選抜の合格者が入学を辞退することは基本的に認められませんが、特別の事情により入学辞退を希望する場合は、令和8年12月21日（月）までに教育支援室入試グループへ申し出てください。

10 入学手続、初年度納付金

（1） 入学手続

① 入学手続期間

令和8年12月14日（月）から令和8年12月21日（月）午後4時まで （必着）

※ 上記期間を過ぎて到着したものは受理しませんので、余裕を持って郵送してください。

② 入学手続方法

入学手続は、合格通知書に同封する手続書類、封筒を用い、書留速達にて郵送してください。

なお、入学手続書類の直接持参については、令和8年12月21日（月）のみ受け付けます。入学手続場所及び受付時間については、合格通知の際にお知らせします。

また、入学手続時に納付した入学料及び提出書類は、返還しません。ただし、令和9年3月31日（水）正午まで（土・日・祝日を除く）に入学辞退の意思表示をして本学学長の許可を得た場合は、入学手続者が納付した諸経費（下記（2）初年度納付金のうち後援会費、学生会費、傷害保険及び賠償保険）の返還に応じます（返還額は、振込手数料を差し引いた後の金額になります）。

（2）初年度納付金（金額は令和8年4月現在）

	金 額	納 付 時 期 等
入 学 料（注1）	岩手県内の住民（注2） 225,600 円 その他の住民（注2） 338,400 円	入学手続期間まで
授 業 料	年額 535,800 円	5月と10月に、それぞれ年額の2分の1に相当する金額を納付
後 援 会 費	50,000 円	令和9年3月まで
学 生 会 費	12,000 円	令和9年3月まで
同 窓 会 費	5,000 円	令和9年3月まで
傷 害 保 険 賠 償 保 険	看護学部 18,000 円 社会福祉学部 4,080 円 ソフトウェア情報学部 4,010 円 総合政策学部 4,010 円	令和9年3月まで
教 科 書 ・ 実験実習費等	ノートパソコン ※ 必要な要件については別途連絡します。	入学までに準備
	おおむね 40,000～90,000 円程度（履修状況等により所要費用に若干の幅があります。）	令和9年4月以降

（注1） 入学料については、高等教育の修学支援新制度の要件に合致する方であっても、入学手続時に一旦納めていただき、入学後の減免が決定してから減免相当額を還付することとしています。

（注2） 「岩手県内の住民」とは、本人又はその配偶者若しくは一親等の親族が入学の日の1年前（令和8年4月1日）から引き続き岩手県内に住所を有する者をいい、「その他の住民」とは、それ以外の者をいいます。※納付金の改定が行われた場合には、改定後の額が適用されます。

（3）経済的支援等（令和8年4月現在）

① 授業料等の減免、分割納付、納期変更

本学では、家庭の経済事情又は不測の災害などのために、授業料等の納付が著しく困難な学生に対する授業料の減免、分割納付、納期変更制度があります。（②の制度と併せて申請することができます。）

② 高等教育の修学支援新制度による授業料等減免

本学は高等教育の修学支援新制度の対象校となっているので、高等教育の修学支援新制度による授業料等減免を申請することができます。（①の制度と併せて申請することができます。）

③ 平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波による被害に伴う授業料等免除

東日本大震災により甚大な被害を受けた学生を経済的に支援するための入学料・授業料免除制度があります。

④ 学業奨励金、奨学金等

学業奨励金、奨学金、その他学生支援に関わる諸制度については、本学の入学案内及びホームページをご覧ください。

⑤ アパート等

アパート等については、大学生協にて紹介・斡旋しています。岩手県立大学生生活協同組合（電話 019-688-9571）へ直接お問い合わせください。また、取り扱っている物件については、ホームページ（<https://www.ipu.u-coop.or.jp/>）で閲覧することができます。

⑥ 学生寮（女子のみ）

盛岡短期大学部女子寮（ひめかみ寮）が盛岡市内にあり、定員に空きがある場合に限り、2年間入寮することができます。

11 入学前教育

看護学部及びソフトウェア情報学部の合格者に対しては、入学前の学習支援として、eラーニング、レポートなどの教育・指導を行います。詳細については、入学手続終了後、合格者本人に対して通知します。

12 個人成績提供の請求について

（１） 提供内容

学 部 名	提 供 内 容
看 護 学 部	総合点（基礎学力問題、面接の合計点）
社 会 福 祉 学 部	総合点（小論文、面接の合計点）
ソフトウェア情報学部	総合点（基礎学力問題または基礎学力問題（専門高校・総合学科）、総合判定資料（書類・面接）の合計点）
総 合 政 策 学 部	総合点（総合問題、面接の合計点）

（２） 請求の受付期間・受付時間

令和8年12月8日（火）から令和9年1月8日（金）まで

（土・日・祝日・年末年始（12月29日から1月3日まで）を除く）

※ 口頭による請求：午前9時から午後4時まで（午前11時45分から午後1時までを除く）

※ 令和8年12月8日（火）は、合格発表後、午後1時以降になります。

※ 郵送による請求：上記受付期間内の消印有効

※ この期間を超えた場合、請求の受付は、一切いたしません。

（３） 請求の受付場所・郵送先

岩手県立大学 教育支援室入試グループ

（４） 請求方法

① 口頭による請求

ア 請求ができる者は本人に限ります。

イ 電話による請求はできません。

ウ 本人であることの確認書類として、受験票の提示が必要です。

② 郵送による請求

次の書類を前記（３）の送付先に簡易書留郵便で送付してください。

ア 個人成績の提供請求書（本人を請求者とし、必ず本人が記入してください。）

※ 請求書の様式は、25ページをコピーするか、本学ホームページからダウンロードしてください。

イ 受験票

ウ 返信用封筒（長形3号封筒に460円分（簡易書留郵便料金：令和8年4月現在）の切手を貼り、住所・氏名・郵便番号を明記したもの。宛名には、必ず本人の名前を記載してください。）

(5) 提供方法

① 口頭による請求

受付場所において、口頭により提供します。

② 郵送による請求

個人成績の提供請求書に同封された返信用封筒により、提供内容を記載した通知書を簡易書留郵便により送付します。

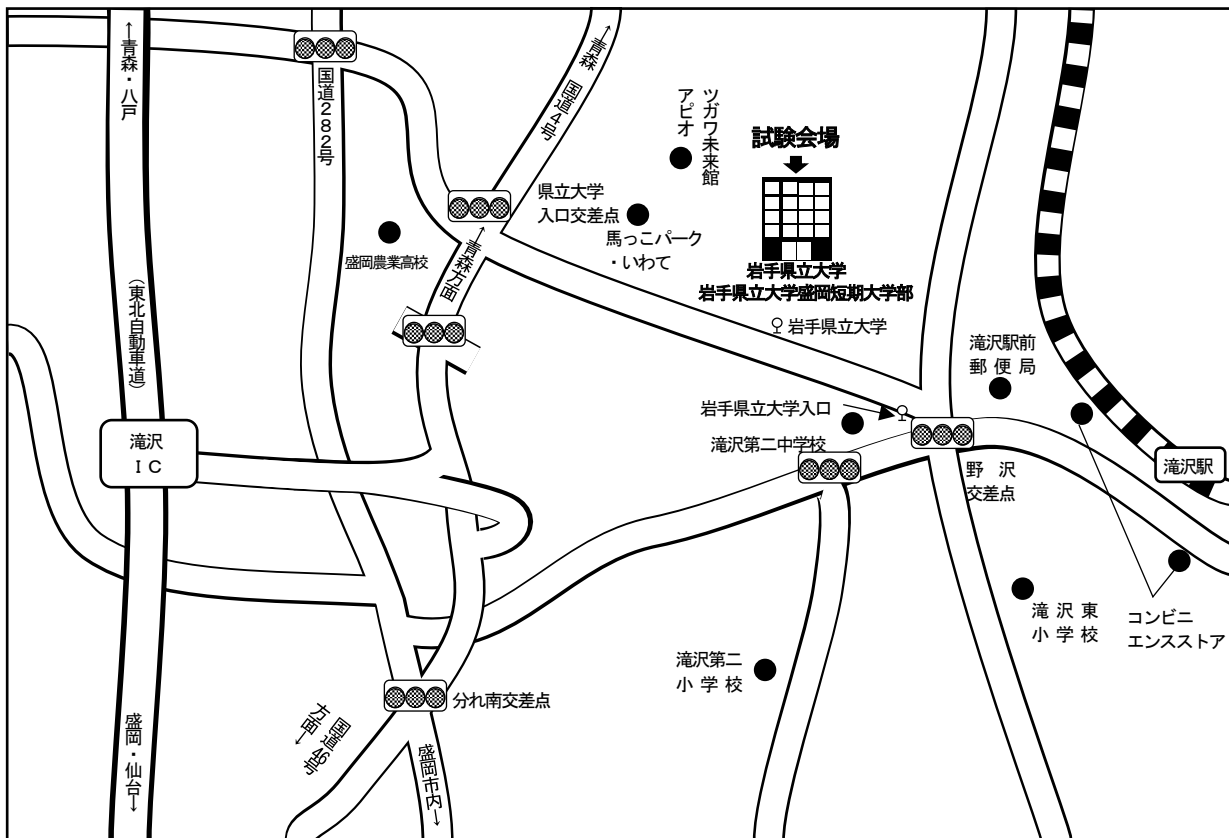
(6) その他

公立大学法人岩手県立大学個人情報の保護等に関する規程（令和5年規程第43号）第23条第1項の規定による開示請求については、別に手続が定められていますので、岩手県立大学教育支援室入試グループへ相談してください。

13 個人情報の取り扱い

出願書類等に記載されている個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績については、法令に基づく場合を除き、原則として第三者に提供することはありません。なお、入学者選抜に用いた個人情報については、入学者選抜に関わる業務（入学試験業務に付随する統計処理などの業務及び入学者選抜方法研究等のための業務等を含む。）及び入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務を行うために利用します。

14 試験会場案内



※ 滝沢ＩＣをご利用の方は、国道４号を青森方面にお進みください。

岩手県立大学までの交通手段

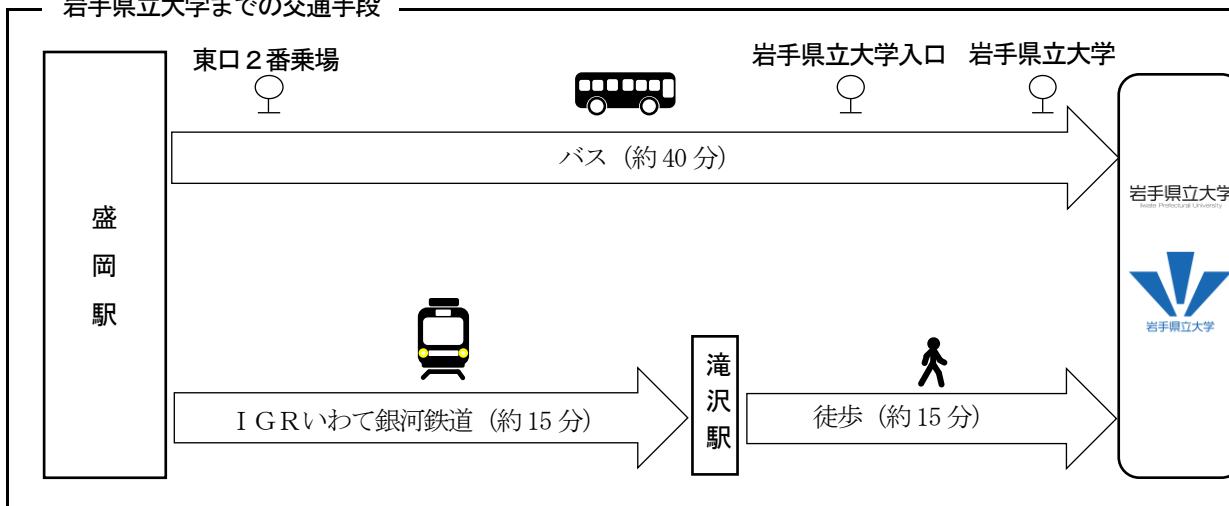
鉄道利用： I G Rいわて銀河鉄道 盛岡駅→滝沢駅下車（約 15 分）、滝沢駅から徒歩（約 15 分）

バス利用：岩手県交通盛岡駅東口2番乗場「岩手県立大学」行→「岩手県立大学」下車（約40分）

※ バス停「岩手県立大学入口」で降りると、大学構内まで5分程度かかりますのでご注意ください。

※ 鉄道、バスともに運行状況をご確認のうえ利用してください。

岩手県立大学までの交通手段



岩手県立大学 様

請 求 者 氏 名 _____

住 所 〒 _____

連絡先（電話番号） _____

個人成績の提供請求書

令和9年度入学者選抜について、下記のとおり個人成績の提供を請求します。

記

試 験 区 分	
受 験 番 号	
受 験 者 氏 名	

（注）本請求書は、**受験者本人が必ず自書**してください。

添付書類

- ① 受験票
- ② 返信用封筒（長形3号封筒に 460 円分（簡易書留郵便料金：令和8年4月現在）の切手を貼り、住所・氏名・郵便番号を明記したもの。宛名には、必ず本人の名前を記載してください。）

----- 以 下 大 学 記 入 欄 -----

受付年月日	年 月 日	発送年月日	年 月 日
担当者確認欄			

(記入例)

令和 〇 年 〇 月 〇 日

岩手県立大学 様

請求者氏名 夢 野 翼

住 所 〒 020 - 0693

岩手県滝沢市巢子 152-52

大学アパート1号

連絡先（電話番号） 019-694-2000

個人成績の提供請求書

令和9年度入学者選抜について、下記のとおり個人成績の提供を請求します。

記

試験区分	令和9年度岩手県立大学社会福祉学部 学校推薦型選抜（一般）
受験番号	012345
受験者氏名	夢 野 翼

（注）本請求書は、受験者本人が必ず自書してください。

添付書類

- ① 受験票
- ② 返信用封筒（長形3号封筒に 460 円分（簡易書留郵便料金：令和8年4月現在）の切手を貼り、住所・氏名・郵便番号を明記したもの。宛名には、必ず本人の名前を記載してください。）

----- 以下大学記入欄 -----

受付年月日 年 月 日	発送年月日 年 月 日
担当者確認欄	

出 願 書 類

☐	志願票
☐	写真票
☐	推薦書
☐	志望理由書
☐	調査書
☐	提出書類チェックシート
☐	出願書類提出用角形 2 号封筒（出願書類提出用宛名シート貼付）

岩手県立大学への問い合わせ

■ 問い合わせ時間等

月曜日から金曜日まで（ただし、祝日及び年末年始（12 月 29 日から 1 月 3 日まで）を除きます。）
8 時 30 分から 17 時 15 分まで（ただし、12 時から 13 時までを除きます。）

■ 問い合わせ先

● 入学試験・入学料	[入試グループ	019-694-2014]
● 奨学金・授業料減免・学生寮	[学生支援グループ	019-694-2010]
● 授業料納入	[管財契約グループ	019-694-2002]
● 授業内容、取得可能な資格	[教務管理グループ	019-694-2012]



教育支援室 入試グループ

〒020-0693 岩手県滝沢市菓子 152-52

TEL 019-694-2014 FAX 019-694-2035

ホームページアドレス <https://www.iwate-pu.ac.jp/>